

謹賀新年

本年もよろしく
お願いします

さくら棟スタッフ一同



さくら便 第17号
天草病院 さくら棟
発行責任者 跡上 幸枝
編集責任者 山畑 堅一
〒863-2171
天草市佐伊津町5789
TEL(0969)23-6111



初夢！『一富士 二鷹 三なすび』

これは貼り絵です。患者様方とスタッフが協力して作った作品です。富士は「無事」、鷹は「高い」、なすびは事を「成す」。『一年を無事に過ごし、高く上がり、事を成す』という意味があるそうです。病棟に展示してありますので、是非ご覧になってください。



平成20年度新年おめでとうございます。
昭和が終わったのもう20年前とは、月日の流れるのは何と早いことでしょう。20年前までの働き盛りを昭和とともに過ごし生きてきた私たちの父母、その父母が年を重ね、そういう方々がこの「さくら棟」にいらつしやる訳で、これからも感謝をしながら余生のお手伝いを続けていきたいと思えます。
天草病院では、去年9月から「認知症外来」を始めました。毎週水曜日の午後がその診察日で、宮川太平先生が診てくれています。先生は熊本大学精神神経科教授、熊本大学医学部長を経て、退官後は八代にあります熊本労災病院院長をなさっておられました。認知症に関しては日本のトップに居られる方です。宣伝をまだ殆どしていませんから混雑する状況ではありませんが、少しずつ診療が活発になっていくだろうと思われまます。この外来診察に合わせ、数日から2、3ヶ月の入院を受け入れて地域の方々への応援をして行くことも計画しています。スタッフ一同、より良い病棟を目指し頑張りたいと思っておりますので、本年もよろしくお願いたします。

天草病院院長 宮川 民平

さくら



12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	月
クリスマス会	家族教室 誕生会 (10・11・12月生)	第3回病院祭	敬老会 誕生会 (8・9月生)	道中総踊り	七夕会 家族教室 誕生会 (6・7月生)	お楽しみ会	運動会 新茶会 誕生会 (3・4・5月生)	お花見会	ひな祭り会 家族教室	節分会 誕生会 (2月生)	正月会 誕生会 (1月生)	主な行事内容

年間行事予定紹介

'07 下半期の出来事

クリスマス会

誕生会 (10・11・12月生)



12月25日、病棟で誕生会を兼ねたクリスマス会をしました。今回11名の誕生者がおられ、それぞれの方を紹介した後、102歳になられた女性の方に代表でケーキの口ソングを吹き消してもらいました。となりの誕生者の方のお手伝いもあり、みごと消えると皆さんからお拍手で祝福を受け、「皆さん、今日はこんなにお祝いしてもらってありがと。長生きしてよかったです。皆さんも長生きできるように頑張ってくださいね」と涙ぐんで挨拶をされました。来年も是非、元氣な挨拶をお願いします。



誕生会が終わる頃、サンタククロスに変装したスタッフの慰問もありました。どこからともなく鈴の音が聞こえ、何人ものサンタやトナカイが走って登場！「メリークリスマス！」と元氣な声と同時に、さくら棟の皆さんの輪の中に入って握手をしたり、触れ合ったり！中にはお腹丸見えのサンタもいて、腹の見えと、と笑い声が飛び交っていました。しばらくすると、今度は逆に静かなハンドベルの演奏が2曲あり、ハンドベルならではの綺麗な音色に皆さん聴き入っておられました。演奏が終わって拍手で見送った後、「あんなたはあれが仕事じゃろー！手やったもね。初めてあげるとは聴いた」とこども喜んでおられ、楽しい雰囲気の中、みんなでケーキを食べました。サンタの皆さん、来年もみんな楽しんで待っています！



第21回家族教室を終えて

11月18日に家族教室を開きました。テーマは「生活機能回復訓練」簡単・楽しいレクリエーション」で、今回6組8名のご家族の参加がありました。作業療法士の松井より、認知症の方に対して、どういう目的で日々訓練を行っているかを説明し、後半はホールにて、いつもの訓練に参加していただき、みんなで歌を歌ったり、体操をしたりして過ごしていただきました。最後の質疑応答では、家では歌うような人じゃなかったから、今日一緒に参加して驚きました。色々考えて計画されているようで、本人も楽しくできています。などの感想をいただき、スタッフとしても嬉しく思っています。次回3月に予定していますので、ご都合がつかれた際は是非お越し下さい。



第2回 よってみんな祭

10月27日に院内文化祭「よってみんな祭」が開催されました。幸い天候にも恵まれ、ぜんざいやたこ焼きの屋台をはじめ、バザーも大盛況！野外ステージではゲーム大会をはじめ、琴北教室から三味線の演奏の慰問や、マジックショーもありました。地域の子供たちの姿も多く、「医療戦隊アマレンジャー」というヒーローショーもあり、とても賑わいました。さくら棟の皆さんも客席から見られておりましたが、イベントよりも、ワイワイと楽しそうにしている子供たちの姿を眺めておられたのが印象的でした。



展示の部では、さくら棟の作品コーナーもあり、いつも手がけておられる貼り絵やぬり絵を色んな方に見ていただく機会になりました。さくら棟の皆さんも、いつもは見れない作品が見れてよかったですと喜んでおられました。来年も予定されていますので、ご都合がつかれた際は是非お越し下さい。

わ

9月17日の敬老の日、女性病棟の皆さんの慰問がありました。楽しい交流会にしようと、はじめは患者さん対スタッフでクイズを楽しみました。お題は「月の和風名称」というもので、1月は「睦月」のカード、2月には「如月」、3月なら「弥生」のカードを組み合わせていくという内容。古い言葉のせいか、若いスタッフが間違えてしまい、見事患者さんチームの勝利！珍回答でひとしきり笑った後に「天草ハイヤ」の披露があり、さくら棟の皆さんの間を、踊り歩きながら楽しませて下さいました。踊りの雰囲気そのままに、いつもは踊ったりしない方も列に入っておられ、今度はみんな「炭坑節」を踊りました。最後に長寿へのお祝いの言葉もいただき、わざわざ着物まで着て上手に踊ってもらった」と皆さんとても喜んでおられました。



盛り上がった！道中総踊り

まだ暑さが残る9月8日に、道中総踊りが開催されました。それぞれの病棟が趣向をこらし、踊りを披露しながら院内を踊り歩くイベントで、さくら棟の皆さんも団扇を手にはたき、力強いかけ声を出しながら踊る男性陣。女性ならではの華やかな衣装と踊り。次々と登場する踊り手に、拍手や歓声があがっていました。大いに盛り上がり、イベントが終わってからも皆さんの前で踊ってみせる男性もいらっしゃいました。踊りが上手で自分も踊りたかったという言葉や、「頑張らとらしたね私ほめっかろうと思つて一生懸命頑張ったよ」と冗談のこととして踊るはつてありがたみのあった」と嬉しそうに話され、祭りの雰囲気を楽しんでおられました。



後記編集

「平成20年」という節目の年が明けました。さあ暖かい春が来るというイメージですが、実は更に寒い季節を迎える頃になりました。ご家族の皆さまも、風邪などお体には十分お気を付けお過ごし下さい。